

問 1 以下の①～⑩は何についての説明か、その名称を解答用紙に記述してください。

(20 点)

- ① 都道府県または政令指定都市・中核市などにある地域の公衆衛生行政の中心的な機関
- ② ある一時点において疾病を有している人の割合
- ③ 妊娠満 22 週以後の死産と生後 1 週未満の早期新生児死亡を合わせたものを、出生数に妊娠 22 週以後の死産数を加えたものの千対で表した値
- ④ 被保険者に対する生活習慣病に着目した健診および保健指導を医療保険者に義務づけている法律
- ⑤ 調査対象期間の 1 か月間に退院した患者の在院期間の平均
- ⑥ 15 歳～49 歳までの女子の年齢別出生率の合計
- ⑦ 年少人口 100 人に対して、高齢者が何人いるのかを示した値
- ⑧ 年齢構成が異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整しそろえた死亡率
- ⑨ ある年齢の人が平均して何年生きられるかを示す年数
- ⑩ 心身ともに自立し、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

問 2 以下の事例を読んで、1)、2)の問いに答えてください。

A 市は人口 10 万人で、古くからある B 地区と新興住宅として若い人が多く住む地区がある。B 地区は自治会活動に加え、サークル活動など住民の活動が活発で、公民館の掃除も地区住民によって順番に取り組まれている。その B 地区の民生委員から地域包括支援センターに「B 地区内に気になる C さんがいる。70 代の男性の C さんは、長年妻と 2 人暮らしで地域の集まりにも夫婦で参加していた。糖尿病があり、夫婦で近所の開業医に通っていたと聞いている。半年前、妻が脳梗塞で亡くなり、それ以後 C さんの姿をあまり見かけなくなり心配していたが、最近パジャマ姿で外を出歩いて、迷子になって家に戻れなくなったことがあった。心配なので見に来てほしい。」と依頼があった。

1) C さん健康障害について、考えられることをその根拠を含めて 250 字以内で記述してください。
(20 点)

2) C さんが地域で生活し続けるためにはどのような支援が必要か、地域のどんな人や機関とつながればよいか、貴方の考えを根拠も含めて 700 字以内で記述してください。
(60 点)